

天沼中だより

8天沼中 第66号
令和8年4月30日
杉並区立天沼中学校
自主・自律・共生



「考えること」

校長 池田 和幸

令和8年度の天沼中学校がスタートしました。最上級生となった3年生の様子には、先輩としての自覚、後輩に手本を示そうと「やるべきことはやる」という姿勢が見られていて、とても立派だと感心します。昨年度に引き続き、先輩が後輩の手本となり、よりよい学校生活の範を示しているのは、生徒が学校を自律的に動かしている証として、大変うれしく思います。まだ学校生活に慣れていない1年生には、すれ違った時の挨拶、集会等で名前が呼ばれた際の返事など、3年生を見習ってほしい部分がまだまだ多くあります。3年生は、叱られるから挨拶や返事を仕方なくやっているのではなく、自然に行っています。それは、礼儀や挨拶の意義や大切さを理解し、実践しようとする姿勢があるからに他なりません。

以前朝会で、返事は自分の存在証明と生徒に伝えたことがあります。一人一人には固有の名前があり、異なった存在です。自分の名前を呼ばれたということは、大多数の誰かではなく、その人を指名していることになります。我々教職員も授業や指導の場面において、「あなた、君」といった代名詞をなるべく使わず、基本的に生徒の名前を呼ぶようにしています。（どうしても顔と名前が一致できていない時など、名前で呼べない場面があることはご容赦ください。）天沼中学校は、「自主」「自律」「共生」を教育目標として、教育活動を行っています。この3つの柱は、一人一人の存在が確立されていなければ達成できません。この3つの柱の逆の姿を考えてみると、誰かの判断に従い、誰かが決めたルールのもと、誰かに存在を脅かされるような姿となりますが、この様子には個の存在を必要としません。非常に息苦しい生活が見えてきます。極端な様子で例えましたが、本校がこの教育目標を掲げているということは、教職員一同、一人一人の存在を大切にすることを心がけ、人格の完成につながるよう努力をしています。

人間という存在について、近代の哲学者パスカルが「人間は考える葦である」と述べています。有名な一節ですが、この元となった「パンセ」という書物にはこう書かれています。「人間はひとくきの葦にすぎない。自然のなかで最も弱いものである。だが、それは考える葦である。彼をおしつぶすために、宇宙全体が武装するには及ばない。蒸気や一滴の水でも彼を殺すのに十分である。だ

が、たとい宇宙が彼をおしつぶしても、人間は彼を殺すものより尊いだろう。なぜなら、彼は自分が死ぬることと、宇宙の自分に対する優勢とを知っているからである。宇宙は何も知らない。だから、われわれの尊厳のすべては、考えることのなかにある。われわれはそこから立ち上がらなければならないのであって、われわれが満たすことのできない空間や時間からではない。だから、よく考えることを努めよう。ここに道徳の原理がある。」人間はひ弱な存在ではあるものの、考えることができるという他に代えがたい、気高いものをもっている。考えることができるからこそ、自らを律することができる存在であると述べています。考えることができる動物が存在しない訳ではありませんが、人間のようにこれだけ多くのことを考え、実行することができる動物は、人間以外にはいません。「考えること」は人間のもっている偉大な能力の一つと言えるでしょう。

先日、今年の運動会の生徒会種目を「応援合戦」を行うと生徒会長の小澤さんから発表がありました。おそらく生徒会役員の皆さんは、この「応援合戦」の企画実現のために、これまで様々な計画を考え、担当の先生と相談しながら、沢山考えてきたのではないのでしょうか。パスカルが言うように、「考えること」があってこそ、人は行動し、思いを形として実現させることができます。「考えること」は充実した学校生活には欠かせない要素であるといえるでしょう。

本校の教育目標の核となるものは、「自律」であると考えています。自分自身で「善い」か「悪い」か判断し、「善い」ことを選択していく力です。判断するということは、そこには必ず「考えること」が伴います。自分の「善い」か「悪い」かを判断する物差しが適切なのかについても、自ら問い続けることが求められます。自律的に生きていくためには、「考えること」を大切にしていかなければなりません。中学校3年間で沢山悩み、考えて自分らしい生き方を見出してほしいと思います。「考えること」こそが、自律への道につながっているのです。充実した学校生活が送れるように、教職員一同努力して参りたいと思います。

ご入学おめでとうございます！



4月7日
第80回入学式

新入生のみなさん、天沼中学校へようこそ。天沼中学校の教職員、先輩たちはこの日の出会いを楽しみにしていました。新入生のみなさんとの学校生活をより良いものにしていくために一緒に頑張っていきましょう。



第1学年の担任の先生は、A組：■■■■先生、B組：■■■■先生、C組：■■■■先生です。

令和8年度 転出・転入教職員の紹介

退職・転出		転入・新規採用	
職 名	氏 名	職 名	氏 名
副校長	■■■■	副校長	■■■■
主任教諭	■■■■	主幹教諭（自校承認）	■■■■
主任教諭	■■■■	主幹教諭	■■■■
主任教諭	■■■■	主任教諭	■■■■
教 諭	■■■■	主任教諭	■■■■
教 諭	■■■■	教 諭	■■■■
教 諭	■■■■	教 諭	■■■■
教 諭	■■■■	不登校対応巡回教員	■■■■
非常勤教員	■■■■	時間講師	■■■■
時間講師	■■■■	時間講師	■■■■
時間講師	■■■■	時間講師	■■■■
事務主事（区費）	■■■■	時間講師	■■■■
		部活動指導員	■■■■（サッカー）
		事務主事（区費）	■■■■



誓いの言葉 1年



さん



春の光に包まれ、命が芽吹くこの季節、私たち 82 名は、本日、天沼中学校への入学を迎えました。先生方、先輩方、そして保護者の皆様、私たちの入学を温かく迎えていただき、心より感謝申し上げます。私は、これから始まる3年間で、さまざまな行事や学習を通して、仲間たちと多くの思い出を作り、悔いのないように過ごしていきたいです。その中でも、1泊2日のフレンドシップスクールは、仲間との絆を深められる大切な行事として、今からとても楽しみにしています。小学校が同じだった人とも、同じではなかった人とも、絆を深められることを期待しています。また、これからの3年間では、勉強と部活動の両立にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。毎日の授業を大切にしながら、自分の興味や得意を伸ばし、仲間と励まし合いながら成長していきたいです。授業では、特に英語に力を入れ、将来につながる力を身につけられるよう努力を重ねていきたいと思っています。



これからは、天沼中学校の生徒の一員であることを自覚し、先生方や先輩方に頼るばかりではなく、自分で考え、自分で行動できるようになります。そして、誰かの役に立てるような行動を心がけ、充実した中学校生活を送りたいです。先生方、先輩方、そして保護者の皆様、これからもよろしくお願いします。



歓迎の言葉 3年



さん



暖かい春の日差しに包まれ、色とりどりの花に命が芽吹く季節となりました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。天沼中学校へようこそ。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。皆さんと共に天沼中学校で生活できることをとても楽しみにしていました。

今、初めての中学校生活のスタートラインに立つ皆さんは、新しい生活へのワクワクでいっぱいでしょうか。それとも、「別の小学校の人と仲良くなれるのか」、「難しくなる勉強についていけることができるのか」、「部活動や委員会活動は自分でも頑張ることができるのか」など、不安を抱えているでしょうか。皆さんそれぞれ色々な感情を抱えているかと思います。

ですが、前を向いて進んでください。きっとその不安はすぐに消えていくはずです。

例えば、5月に行われる「フレンドシップスクール」では1泊2日の宿泊学習を通して、仲を深め、新たな友情を築くことができます。

勉強については、中学校では小学校と違い、年に4回の「定期考査」というものがあります。慣れない勉強で分からない所もあると思いますが、そんな時は頼れる先生方に聞いてみてください。きっと親身になって答えてくれるでしょう。

また、天沼中学校には様々な部活動や委員会活動があり、友達や先輩と様々な活動を通して、貴重な経験をすることができます。楽しいことも大変なこともいい思い出となり、皆さんの中学校生活をより充実したものにするはずです。部活動や委員会については新入生歓迎会でくわしく紹介をするので、楽しみにしてください。他にも体育学習発表会や音楽発表会などでは、練習から本番を通してクラスの団結力を高めることができます。このような学校行事の多くは実行委員会を中心に、より良い方法やよきまりを考えながら活動が行われています。また、天沼中学校では独自の「ことだま百選」が行われています。「ことだま百選」とは3年間をかけて100個の短歌や俳句、名言などを朗読・暗唱するという伝統的な活動です。「良い言葉、美しい言葉は人に幸せをもたらす」と言われます。この活動を通して私たちは日々、心の成長を目指しています。

そして、天沼中学校では「自主・自律・共生」を学校目標に掲げています。ひとりひとりが中心となって活動できる学校です。私たちと一緒に学校行事や活動に参加し、充実した中学校生活を送りましょう。この経験はきっと皆さんの力になります。もし困ったこと、分からないことがあれば私たちを頼ってください。皆さんの助けになることを約束します。最後になりましたが、皆さんが天沼中学校で過ごす時間がかけがえのないものになることを願い、歓迎の挨拶とさせていただきます。

新入生歓迎会 4月9日



今年も生徒会の主催による新入生歓迎会が行われました。プラカードをもった先輩たちに誘導された新1年生が入場すると会場には大きな歓迎の拍手が巻き起こりました。生徒会長のあいさつから始まり、天沼中学校の生徒会活動について、部活動について、レスキュー隊やボランティア活動について、天沼中 SNS ルールについてなど様々な中学校での活動について説明がなされ、1年生は真剣な表情で今後の選択について考えているようでした。歓迎会の最後には2・3年生による「Tomorrow」の合唱が行われ、新入生の天沼中入学を祝いました。

地域交流会

防災教育・引き取り訓練

4月18日(土)



今年度、最初の土曜授業では1年生を対象に「学校を支えてくれる地域、保護者の皆さん」を知る地域交流会を行いました。本校の教育活動の特色として、様々な外部人材と協力した教育活動が挙げられます。伝統文化体験やことだま、天沼俱樂部、各種検定を行う「学校支援本部」、学校の教育活動に関わる「PTA」、ボランティアや英語村を主催する「地域教育推進協議会」、学校の教育課程・学校生活に関わる「学校運営協議会」、地域の暮らしに関わる「町会」など、様々な形で生徒の皆さんの生活や教育に関わる方々を紹介し、その活動について学習しました。



また、2時間目には本校CS委員の守真弓先生を講師として、災害時における車椅子を利用した傷病者運搬訓練を行いました。車椅子は今年度新たに寄付されたものです。マットのような少しの段差でも車椅子を押すのは難しく、バリアフリーの大切さを学びました。また、ちょっとした工夫で車椅子による運搬が楽になる道具の紹介なども行いました。



2・3年生はHUG訓練（H：避難所 U：運営 G：ゲーム）を行いました。

それぞれのクラスで、天沼中学校が避難所になった場合を想定して訓練を行いました。どのようにして避難者を受け入れるか、物資の置き場などをシミュレーションすることで、地域の一員として貢献する気持ちを育みました。



3時間目には震災等の災害に備え、天沼小・沓掛小との合同引き取り訓練が行われました。安心・安全な学校運営に関わる取組や保護者・地域の皆さまと連携して子供を守ることの重要性について改めて深く考える機会となりました。保護者の皆様、今後ともご協力よろしくお願いいたします。



引き取り訓練の後には、レスキュー隊による防災訓練が行われました。天沼中学校は杉並区で最もレスキュー隊の人数が多い学校で、学期に1度、年3回の防災訓練が行われます。第1回目の訓練では被災時の災害対策本部の活動についてCS委員の守さんから講話をしていただきました。また、それぞれのグループに分かれ、ワークショップを行い、防災についての知識を学びました。

